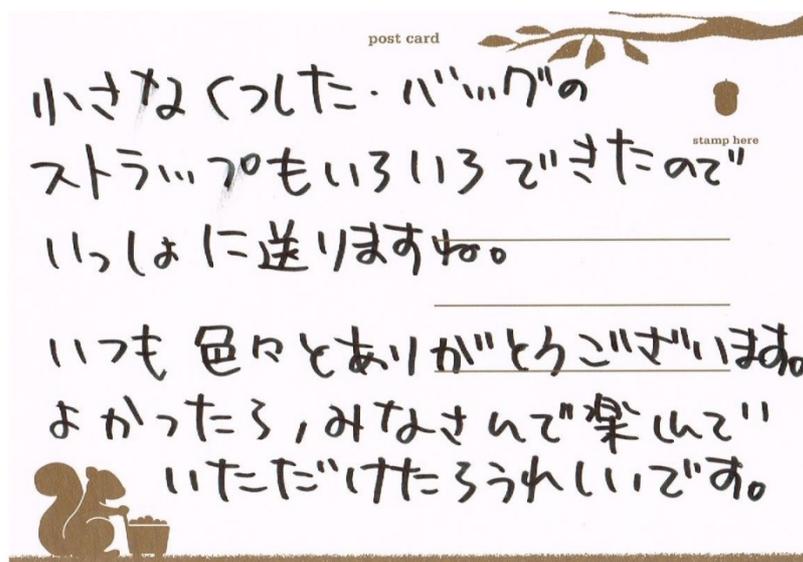


すべて一点もの 毛糸の手編み靴下



佐藤めぐみ

家で集めたビーズを持て余していた時、編み物をしている佐藤めぐみさんに出会いました。2011年震災があった年の秋のことです。彼女は福島県郡山市に住む若い女性で、ボランティアプラットフォームという支援サイトを通してのことです。

ビーズを編み物に使ってみたいというので送りました。家に眠っていた毛糸も必要ということで送りました。しばらくすると、お礼の手紙と毛糸の作品が届きました。それはとても魅力的な作品でしたので、その後も友人に声を掛け、毛糸を集めてお送りしたり、販売のお手伝いもすることにしました。

毛糸の支援をしてくださる方、作品を買い求めてくださる方が現れ、2013年には、靴下を中心にカフェや雑貨屋さんでも扱っていただくようになりました。足元が温かいと、とても評判です。

2015年、今年も毛糸の靴下のシーズンになりました。今年はずま先やかかとの補強された新作の靴下が届いています。色使いのセンスが素敵で可愛く、しかも実用性も考えられており、人の心に寄り添う佐藤さんの作品が私は好きです。

林明子

※作品は2013年10月にTERRA MKS-05（ウクライナ製）で測定し、反応無し

